



那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681
naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



「授業が生きる」ICT活用研修

所長 田中 浩三

全国的に電子黒板やタブレット端末等ICT機器を導入する学校が急速に増えている(例えば電子黒板では全国で六九%の学校が導入している。平成二三年度三月文科省調査)。このような普及の背景には、「学習指導要領」における各教科等のICT活用等、教育の情報化の充実が図られたことが挙げられる。また、それに伴って作成された「教育の情報化に関する手引書」(文科省)では、教科等におけるICT活用の具体的な指導事例等も紹介されている。さらに今年度になって、文科省より「教育の情報化ビジョン(二一世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して)」が発表され、二〇二〇年に向けたICT活用等(例えば児童生徒一人に情報端末一台を!)の教育の方向性が示されたこと等が大きな要因として考えられる。

那覇市においてもICT活用の授業づくりを目指して、今年度九月より電子黒板が中学校全教室と小学校六年教室に導入された。それに伴って、授業における電子黒板活用支援のための研修会が十月に当研究所で六回開催された。

今回の研修会では、電子黒板の操作方法に加えて、国語や算数・数学等における電子黒板(デジタル教科書含む)を活用した授業実践について多くの時間を割いて研修が行われた。これまでややもすると機器操作法のみに終始した研修が多く、授業実践に結び付いていないという指摘もあった。ところが今回は「ICT活用による授業づくりをどのように進めるか」という視点での研修が行われたことは大きな変革であり成果であった。

そのことは、本研修を終えての受講者感想にも表れているので紹介する。

- 様々な活用例を見せて頂き、「この授業はこれを使ってみよう」等、色々なアイデアが浮かびました。教師・生徒が楽しんで授業をするために便利だと思いました。
- 文法等教える場合、重いボードを持ち運ばなくても電子黒板の活用で簡単にできる。本当に驚きです。どんどん使いたい。
- 電子黒板を利用したら授業で時間がかかっていた作業が楽にできるので良いと感じた。自分のできることから始めたい。
- 機械は苦手ですが、視覚的にインパクトがあり授業に興味を持ってこれそうなので活用したい。

那覇市では今年度中にタブレット端末が小学校二校(九〇台)と中学校四校(一〇〇台)に導入されることになっている。子ども達の学びを変え、知識・技能の習得だけでなく、思考力等「活用する力」を身につけさせる授業をより一層推進したい。そのためにも今後ともICT活用の授業づくりを支援し、授業改善等に寄与できるよう研修の充実を図っていききたい。

●「教育研究員の実践的研究・研修を行い、教員の資質の向上を図り本市学校教育の充実に資する」ことを趣旨として、平成26年度教育研究員の募集が始まりました。平成26年3月末現在、那覇市立幼稚園・小・中学校の職員で、教職経験3年以上の先生方が応募できます。

第101期 研究員 テーマ検討会・項立て検討会



池田尚子

何度も原稿を書き直しましたが、自分の中で、論立てや言葉の使い方について気になる個所がいくつかありました。質疑応答の中で、自分が曖昧にしていた部分や、研究を通して明確にしていくべき部分が見えてきました。



村吉優子

仮説を立て直し、「感想をもたせる手立て」「単元を貫く言語活動」の両方の面から、「確かな読みの力」に迫っていけるような内容にしていきたいと思えます。



新里和也

子ども達が、資料を効果的に活用すること、問いを生み出す資料活用の工夫、どのタイミングでどの資料を提示すればどのような考えをもつのか、この辺りをしっかり整理していきたい。



山里 毅

「資料の活用」領域に変更してテーマ設定を行いICTが前より全面的にできるよう思えます。これからの理論研究では本や資料に触れて、研究を充実させていきたいです。



又吉めぐみ
指導主事



平成26年度 教育研究員募集のお知らせ

2/7(金)×切り

第102期【前期】 平成26年4月1日から6ヶ月

第103期【後期】 平成26年10月1日から6ヶ月

募集要項でお確かめください。※ 那覇市立教育研究所HP または Desknet's に掲載

研修の流れ



理論研究



研究内容の検討



検証授業



成果報告会



その他、多くの研修や講座があります。

教育研究員 情報モラル・HP作成 所内講座

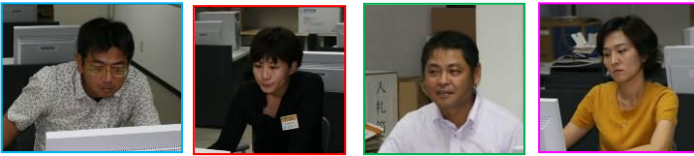
11/7(水)

私達人間は、危険性やリスクなどを伝えることは多いのですが、これからは、メリットとデメリット知った上でどのように上手く活用していくかということをお教えることが大事だとわかりました。これからますます情報モラル教育は必要になってくると思います。(村吉)



上地弘美
イラストレーター

生徒は遊び半分の気持ち、軽い悪ふざけで行ったことが大変なことになるということを知らない。一つ一つ丁寧に教えていく必要があると感じた。ニュースや新聞など、携帯関係の事件を話題に取り入れ生徒に丁寧に、教え考えさせていきたい。(山里)



電子黒板活用研修会

教育研究所
2F会議室

- 10月15日(火) 中学校(国・社)
- 10月16日(水) 中学校(数・理)
- 10月17日(木) 中学校(英) 小学校
- 11月14日(木) 中学校(総合)



電子黒板の様々な機能を学ぶことができて良かった。特に書画カメラで児童のノートや作品をテレビに映し出して比較できたので良かった。

現在デジタル教科書は使っていますが、その他の機能についてはほとんど使っていません。今回の研修で紹介された写真を数枚取り込んで比較したりなどは是非授業でやってみたいと思いました。

既に関数の授業で活用していますが、知らなかった活用方法もあり参考になりました。ノート指導と電子黒板の活用方法など工夫が必要だと思いました。

作文指導に有用です。個人指導にも使えます。文化祭等の映画作りなどにも利用したいです。

第12回 初任者研修

10月24日(木)、グループ研究②道徳グループの代表授業と授業研究会が行われました。

- | | | |
|------|-------|------------|
| 識名小 | 安田 浩哉 | 教諭(5年) |
| 高良小 | 知念 誠 | 教諭(4年) |
| 仲井真中 | 岸本 恵一 | 教諭(2年) |
| 金城中 | 國仲ツエワ | 美佐紀 教諭(2年) |



「演劇指導実践講座」

12月20日(金) 14:30~16:45

自治会館 2F 会議室

講師 : 上江洲朝男

(教育研究所指導主事)

学芸会等の演劇指導に携わる小学校の先生方及び小・中学校の演劇指導、音読、朗読指導に興味のある先生方を対象に講座を行います。詳しくはデスクネットでご確認下さい。



お知らせ

平成25年度「標準学力調査」

小学校 第2学年・第4学年で実施します

これまで中学校の第1学年と第2学年で実施していた標準学力調査を、小学校でも実施いたします。11月5日(火)各学校の教頭先生に説明会を行いました。

調査は12月2日(月)~13日(金)の期間に実施し、委託業者が回収します。

2月初旬に調査結果説明会とデータの配布を予定しています。児童一人一人の到達状況を把握し、適切な指導を行うための資料として有効にご活用下さい。



今月のお勧め

『心に響く道徳教育の創造』

横山利弘・他監修 三省堂 2010

本書は、「心に響く道徳教育」を構想し展開することから、教育活動全体を見直し、豊かな人間性の育成を目指したものである。道徳教育の関係者のみならず、教科教育の関係者にも一読を薦めたい。

国立教育政策研究所 角屋重樹
【三省堂 HP より】

